放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和　6年　2月　7日

公表：令和6年　3月　4日　　事業所名　チャイルドウイッシュちりゅう牛田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			指導訓練室は広く使用できるようおもちゃをあまり置かず、別室にて保管するようにしている
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		段差はなく、バリアフリー化出来ている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			事業所内の冷暖房への意見が出たため扇風機の設置し対応した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		おたより等での公開はなされていないため、今後検討していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者評価の実施はないため今後実施していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		可能な限り、積極的に研修へ参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			標準的なアセスメントの実施ができるように、書式の検討を行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		チームで考え、よりよいものを提案している。	引き続き、より良いイベント、療育が提供できるように工夫していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		新しい活動を取り入れられるよう案を出し合っている	子どもたちが楽しめ、自主的に取り組めるプログラムを引き続き検討していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		特別イベントなどを実施している。	今後もイベントなどを通してメリハリのあるきめ細やかな支援を心掛けていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		送迎後に共有を行っている。また、次の日の朝のミーティングでも共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			引き続き、ミーティングや検討会を実施することで、検証や改善に努めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4		主に送迎時に共有するようにしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			該当児童がいる場合については、会議等行うことで連携を深めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		今後実施していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		活動のプログラムに中に盛り込んでいきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	2		今後そのような機会があれば参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時に必ず伝えるようにしている。また、必要に応じて家庭連携なども行っている	保護者、お子さんが引き続き安心して利用できるように、引き続き連携を図り、情報共有をしていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	1	3		ママ会（家族支援）を実施していく予定
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		掲示物等いつでも閲覧できるようになっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		必要に応じ、家庭連携にて話をする機会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		以前はママ会を行えていたため、今後再開していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		苦情解決のしくみが標準化されている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月のカレンダー、3か月に一度の通信の発行でイベントなどの発信をしている	
	35	個人情報に十分注意している	4		鍵付き書庫にて厳重に管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		視覚的支援を大切にしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4			イベント等へ参加の呼びかけを検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		書面にて配布している。	各種対応について、研修等の機会を設け、緊急時対応の確認を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		半年に一度ほどの期間で避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待研修に参加し学んでいる	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			定期的な委員会の開催を行い、周知、徹底を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		事業所内外で起きた又は危険だったことは文書に残し、時折見るようにしています	